

# 「グローバル・トレンドを語る」

講師 **村田 晃嗣** 同志社大学 法学部教授・同志社大学長

全5回 定員: 70名 (開講最低人数25名) 受講料5回一括: 12,000円  
時間: 18:30~20:00 受講料各回: 3,000円



**村田 晃嗣** むらた こうじ  
1964年神戸市生まれ。同志社大学法学部卒。神戸大学大学院法学研究科博士課程修了。1991-95年米国ジョージワシントン大学留学。1998年神戸大学博士(政治学)。2005年4月同志社大学教授。2013年4月より同志社大学長。専門はアメリカ外交・安全保障。1999年、『大統領の挫折』でサントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞。趣味は観劇・映画鑑賞。著書:『レーガン - いかにかして「アメリカの偶像」となったか!』(中公新書)など多数。

狙い  
周知のように、2015年は戦後70周年に当る。歴史の中で2015年を位置づけた上で、今年のグローバル・トレンドを検討する。特に、日本外交の主な課題を取り上げる。各界で活躍するゲストスピーカーも招きたい。

- ゲスト 伊奈 久喜** いなひさよし  
1953年東京都生まれ。早稲田大学卒業後、日本経済新聞社入社。政治部編集委員、論説委員、論説副委員長などを経て、特別編集委員(外交・安全保障担当)。1998年度ポーン・上田記念国際記者賞受賞。同志社大学客員教授(就任予定)
- ゲスト 重家 俊範** しげいえとしのり  
1945年広島県生まれ。一橋大学卒業後、外務省入省。官房長官秘書官(後藤田、小淵両長官)、国連日本政府代表部公使、在米特命全権大使など歴任。07年在大韓民国特命全権大使。11年4月~14年3月同志社大学法学部客員教授。2012年より東レ(株)顧問
- ゲスト 茶野 純一** ちのじゅんいち  
1957年滋賀県生まれ。同志社大学卒。ペンシルベニア大学大学院修士。1982年国際交流基金入社。NY日米センター長、日本研究・知的交流部長、米州総局長などを経て、2014年より日米センター所長。日米文化教育交流会議(CULCON)日本側委員、同志社大学客員教授

- 第1回 6/2 火** **イントロダクション**  
歴史の中の2015年について多角的に考察する。
- 第2回 6/16 火** **日本政治と外交**  
ベテラン・ジャーナリストをゲストに迎えて、安倍政権の諸課題を論じる。  
**ゲスト 伊奈 久喜氏** (日本経済新聞社・特別編集委員)
- 第3回 6/30 火** **アジアの中の日本**  
日本と近隣諸国との関係、アジア情勢を中心に論じる。  
**ゲスト 重家 俊範氏** (元在韓国大使)
- 第4回 7/14 火** **国際交流の最前線**  
国際交流のエキスパートをゲストに招き、国際関係の中の文化について議論する。  
**ゲスト 茶野 純一氏** (国際交流基金・日米センター所長)
- 第5回 7/28 火** **まとめ**  
国際関係や外交、政治を考える際の重要な視点を改めて整理する。

# 「中国を読み解く」

講師 **加藤 千洋** 同志社大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科教授

全5回 定員: 70名 (開講最低人数20名) 受講料5回一括: 12,000円  
時間: 18:30~20:00 受講料各回: 3,000円



**加藤 千洋** かとう ちひろ  
元朝日新聞編集委員、「報道ステーション」(テレビ朝日系)コメンテーター。北京特派員時代は、中国報道で国際報道に貢献したジャーナリストを表彰するポーン・上田記念国際記者賞受賞。著書に『胡同の記憶—北京夢華録』『北京&東京 報道をコラムで』ほか。

狙い  
めざましい経済発展を続けてきた中国ですが、どうやら急成長にブレーキがかかり始めたようです。気がつけば目の前にさまざまな課題も山積んでいます。都市部と農村部の経済格差、生態環境の悪化やエネルギー危機、チベットやウイグルなどの民族問題、少子高齢化による人口構成の歪み…。いま、とても気になるのは、急成長の陰で生じた矛盾や歪みを抱えつつ、低成長時代へ突入する中国の行方となるかでしょう。本講座では中国が直面する問題群を、5つの視点から読み解いていきたいと思います。

- 第1回 5/22 金** **「公民」から読み解く中国**  
憲法が保障する諸権利の実現を平和的手段で求める「新公民運動」が中国政府から警戒され、指導者の拘束も続く。「共産党」と「公民」の関係から中国社会の変化を読み解く。
- 第2回 6/5 金** **「水」から読み解く中国**  
PM2.5で汚れた北京の空が有名になったが、その大気汚染以上に深刻な中国の環境問題は実は「水」である。「中華文明の母なる河」とされる悠久の黄河に、その実態を見る。
- 第3回 6/19 金** **「民族」から読み解く中国**  
大陸周縁部に集住するウイグル族やチベット族らの居住地域で近年テロ事件が頻発する。社会の安定確保と経済発展の持続を目指す中国にとりアキレス腱ともいえる民族問題を考える。
- 第4回 7/3 金** **「人口」から読み解く中国**  
実施から35年が経過した「一人っ子政策」が曲がり角にある。若くて豊富な労働力が有り余る時代は去った。急速な高齢化が経済発展の持続にも影を落とし始めた中国の現状は。
- 第5回 7/17 金** **「メディア」から読み解く中国**  
一党独裁体制の維持のためにも中国政府はメディアの統制・管理を緩めない。だがネットメディアの普及で、人民も下から声を上げ始めた。メディアから中国社会の変化をさぐる。

同志社ミニビジネススクール

# 「グローバル時代を読む ~目指すは経済名探偵~」

講師 **浜 矩子** 同志社大学 ビジネススクール教授

全5回 定員: 15名 時間: 19:00~20:30 受講料一括のみ: 50,000円



**浜 矩子** はま のりこ  
一橋大学経済学部卒業。1990年三菱総合研究所ロンドン駐在員事務所所長兼駐在エコノミスト1998年三菱総合研究所主席研究員・経済調査部長。2002年秋より現職。専門は「国際経済学」「国際金融論」「欧州経済論」。近著:老楽国家論:反アベノミクスの生き方のススメ(新潮社)地球経済のまわり方(ちくまプリマー新書)

狙い  
グローバル時代とはどんな時代か。この謎解きに、日々の経済報道や公表データを利用して挑戦してみたいと思います。受講者の皆さんに経済名探偵になっていただく。それが本講座の狙いです。いかなる場合にも、必ず真犯人を見極められる。本講座を通じて、そのような推理家としての鋭さと辣腕を身に付けていただきたいと思います。

- 第1回 5/18 月**
- 第2回 6/15 月**
- 第3回 7/21 火**
- 第4回 8/17 月**
- 第5回 9/14 月**

特徴・進め方  
毎回の講義では、経済の謎解きに必要となる各種の小道具・大道具に着目し、その見方・扱い方について考えます。謎解きの手がかりは、我々が日常に出会う情報の中に潜んでいます。それらの手がかりをどうつかみ取るか。どうすれば、それらをつかみ取るコツがみえて来るのか。これらのことを会得すべく、新聞報道などを題材に分析と議論を進めます。

各講義で具体的にどのような話題を取り上げるかについては、折々の情勢に応じて決めて行きたいと存じます。時宜性を意識しつつ、経済名探偵にふさわしい道具箱の内容を取り揃えて行く。そんなアプローチを取りたいと考えております。このような構想ですので、各回の講義ごとにここで具体的なテーマを掲げることはいたしません。それは、その都度のお楽しみということにさせて頂きたい次第です。ただ、各講義を通じて、ご受講下さる皆様に身に着けて頂きたいと願う謎解きの「技」は、およそ次のようなものです。

- ◆数字が語る経済物語の読み取り力
- ◆人々が語る経済物語のウソ発見力
- ◆経済情報の中に潜む真相解明力
- ◆常識の中の非常識の見破り力
- ◆今と昔の対比力

このような具合に道具箱の中身が充実してくれば、もはや恐いもの無しです。腕試しの意味で、最終講義では、皆様にそこまでの成果を駆使して頂き、一つの謎の解明に挑戦して頂きたいと考えています。なお、既に本講座をご体験頂いている皆様は、どうぞ、リピート受講を通じて謎解き力に一段と磨きをおかけ頂ければと存じます。皆様、お待ちしております!

# 「30代からはじめる アンチエイジング」

講師 **米井 嘉一** 同志社大学 生命医科学部教授

全5回 定員: 70名 (開講最低人数20名) 受講料5回一括: 12,000円  
時間: 18:30~20:00 受講料各回: 3,000円



**米井 嘉一** よねい よしかず  
1958年生まれ。1982年慶應義塾大学医学部卒。2005年より同志社大学アンチエイジングリサーチセンター教授、現在に至る。日本抗加齢医学会理事としてアンチエイジングの研究と普及に努める。近年では糖化ストレス研究に重点を置いている。

狙い  
身体は様々な細胞・組織・器官から構成され、加齢に伴い30代より退行性変化が生じる。老化の仕方は人それぞれ。神経、血管、骨、筋肉、どの機能が低下するかは個々により異なる。酸化ストレス、糖化ストレス、心身ストレスといった老化危険因子もそれぞれである。老化の仕組みを知り、弱点を早期に見つけ全体のバランスを図る方法を学ぶ。

- 第1回 5/8 金** **アンチエイジングとは何か?**  
身体の老化は筋、血管、神経、骨、ホルモンの機能年齢で評価する。機能年齢は何故衰えるかを知り、予防法を考える。アンチエイジングとは機能年齢の老化予防・若返りである。
- 第2回 6/12 金** **若者にも必要なアンチエイジング**  
幼児期の食生活が将来に及ぼす影響、小児に増えている生活習慣病、30代から低下する生殖機能といった問題を探り、アンチエイジングで健康的な成長・成熟を目指す。
- 第3回 7/10 金** **アンチエイジングでメタボを減らせ**  
内臓脂肪が貯まり糖化ストレスが強いメタボは血管老化(動脈硬化)の危険因子である。筋肉不足、ホルモン不足、ストレス過剰? あなたに最適なメタボ予防対策を考える。
- 第4回 8/7 金** **アンチエイジングでロコモを減らせ**  
ロコモとは運動器機能の低下状態。筋肉老化(サルコペニア)、骨老化(骨粗鬆症)、関節の老化(変形性関節炎)、さらには神経機能の低下が加わる。ロコモ知らずの身体を創ろう。
- 第5回 9/11 金** **病は気から、若さも気から**  
何時までも若く美しく生きるために重要なことは動機づけと行動変容である。神経は使わないでいると鈍ってしまう。アンチエイジングで「Happy Aging!」を目指す。

# 「源氏物語と冷泉家」

講師 **岩坪 健** 同志社大学 文学部 国文学科教授

全5回

定員: **70**名 (開講最低人数20人) 受講料5回一括: **12,000円**  
時間: **14:30~16:00** 受講料各回: **3,000円**



岩坪 健 いわつぼ たけし

1957年京都市生まれ。81年京都大学文学部国語学国文学科卒。89年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。91年「源氏物語古注釈の研究 -中世源氏学の流れ-」で文学博士。第16回日本古典文学会賞受賞。単著:『源氏物語古注釈の研究』(和泉書院)『光源氏とティータム』(新典社)『ウラ日本文学-古典文学の舞台裏-』(新典社)『源氏物語の受容-注釈・梗概・絵画・華道-』(和泉書院。第15回・紫式部学術賞受賞) 編著:『錦絵で楽しむ源氏物語』(和泉書院)など。

## 狙い

同志社大学の隣には、江戸時代に建てられた公家屋敷があり、そこには冷泉家が今もお住まいです。当家は鎌倉時代から続く、和歌の家です。冷泉家と源氏物語とは、深い関係があることをお話しします。

第1回  
8/20  
木

### 源氏物語千年紀

2008年は源氏物語千年紀でした。千年前に同志社大学の近くで起きたことが、千年紀の契機になりました。

第2回  
8/27  
木

### 源氏物語と藤原俊成

藤原俊成は冷泉家の祖先です。彼は91歳まで生きました。俊成の一言がなければ、源氏物語は現代まで残らなかったかもしれません。

第3回  
9/3  
木

### 源氏物語と藤原定家

藤原定家は藤原俊成の子です。彼が源氏物語を写さなければ、源氏物語は今とは違う本文になっていたかもしれません。

第4回  
9/10  
木

### 源氏物語と阿仏尼

阿仏尼は藤原定家の息子の嫁です。彼女がいなければ、冷泉家は存在しなかったかもしれません。

第5回  
9/17  
木

### 源氏物語と意匠

源氏物語は華道・茶道・香道にも大きな影響を及ぼしました。また、着物や小物などのデザインにも使われています。

# 「戦後70年、次世代の人たちに語るべきことは何か」

講師 **保阪 正康** ノンフィクション作家・評論家

全5回

定員: **70**名 (開講最低人数20人) 受講料5回一括: **12,000円**  
時間: **13:30~15:00** 受講料各回: **3,000円**



保阪 正康 ほさか まさやす

1939年北海道生まれ。同志社大学文学部社会学科卒(1963年) ノンフィクション作家、評論家。「昭和史を語り継ぐ会」主宰。主な著書に『東條英機と天皇の時代』『昭和天皇(上下)』『吉田茂という逆説』『昭和陸軍の研究(上下)』など

## 狙い

太平洋戦争の終結から70年が過ぎた。この70年の日本社会は何を得て、何を失ったのか、改めてそのことを整理したい。とくにこの時代を体験した者は次の世代に何を語り残すべきか、その内容を確認していきたいと思う。

第1回  
5/29  
金

### 太平洋戦争の教訓

太平洋戦争の教訓を整理し、それが戦後社会に生かされたかを具体的に考える。

第2回  
6/26  
金

### 敗戦・占領を考える

敗戦と占領を通して私たちは何を学んだのか。その内実を検証することが今必要だ。

第3回  
7/31  
金

### 史料と資料の役割

歴史を語る史料、そしてそれを記述する資料。そのふたつの視点で70年をふり返る。

第4回  
8/28  
金

### 戦後社会の特徴

戦後社会は、いわば吉田ドクトリンで進んできた。その功罪をつぶさに見つめる。

第5回  
9/25  
金

### 戦後70年からの出発

「戦後」とどのように決別していくのか。私たちが問われているその戦後はまたスタートでもある。

# 「遺跡からみた京都・関西の文化」

講師 **若林 邦彦** 同志社大学歴史資料館 准教授

全4回

定員: **70**名 (開講最低人数20人) 受講料4回一括: **10,000円**  
時間: **14:00~15:30** 受講料各回: **3,000円**



若林 邦彦 わかばやしくにひこ

1967年大阪府生まれ。同志社大学文学部卒。同志社大学大学院文学研究科博士前期課程修了。1992-2004年大阪府文化財センター技師。2004年9月同志社大学歴史資料館専任講師。2008年4月より同准教授。専門は考古学。主に弥生時代の研究を行うが、同志社大学構内の中〜近世の京都の遺跡調査にも取り組む。単著に『倭国乱』と高地性集落論』新泉社。共著に『考古資料大観1土器1』小学館、『日本葬制史』吉川弘文館など。

## 狙い

同志社大学の位置する京都は、長く関西や日本文化の中心でした。本講座では、考古学をとした歴史にみえる関西文化の特質を考え、同志社の文化的背景を考えてみます。題材としては、同志社今出川校地の遺跡からわかる京都の幕末動乱・寺院・公家の在り方に光を当てます。さらに古代以前の遺跡調査の成果に基づき、関西文化の基層について語ります。出土品などを前にして、解説も行います。

第1回  
7/27  
月

### 同志社大学と相国寺 ~古地図と出土品から~

同志社大学構内は、足利義満のいた相国寺の塔頭(鹿苑院)にあたります。中世最高権力者の寺院の様子を、室町~江戸時代の古地図や出土品(足利家紋の瓦など)を前に読み解きます。

第2回  
8/17  
月

### 京の公家屋敷と薩摩藩邸を掘る

京都御苑周辺の江戸時代の公家屋敷・薩摩藩邸の様子を古地図や同志社構内の出土品(伏見人形や薩摩藩兵の実弾など)をみながら考えましょう。

第3回  
8/31  
月

### 関西文化の基層~畿内とは~

古代の都城や古墳などのあり方から、関西の政治・文化の基層となる「畿内」という地域を考えてみます。上方文化の源流は、実は古墳時代(1600年前)にできていたのです。

第4回  
9/14  
月

### モノからみた東西文化 ~考古学の方法から~

遺跡から出土する「モノ」をみると、おどろくほどはっきりと文化の地域性が見えます。そこから、日本の東西文化の違いを考えてみたいと思います。石器・縄文・弥生土器などの破片から日本文化の多様性を感じませんが、

# 「ナショナリズムと国家」

講師 **佐藤 優** 作家・元外務省主任分析官

全5回

定員: **70**名 (開講最低人数20人) 受講料5回一括: **12,000円**  
時間: **18:30~20:00** 受講料各回: **3,000円**



佐藤 優 さとう まさる

1960年東京都生まれ。1985年同志社大学大学院神学研究科修士後、外務省入省。主任分析官として対ロシア外交の最前線で活躍。2009年外務省を失職。2005年『国家の民外務省のラスプーチンと呼ばれて』で第59回毎日出版文化賞特別賞を受賞。2006年『自壊する帝国』で第5回新潮ドキュメント賞、第38回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。『獄中記』『交渉術』『同志社大学神学部』『世界史の極意』など著作多数。

## 狙い

シリアとイラクの一部地域を実効支配するイスラム教スンニ派過激組織「イスラム国」の活動が激化している。この現象は、既存の国際社会の構造を変化させる可能性がある。近現代の国家、国際関係の基盤となっているナショナリズムも問題を掘り下げて考察することによって、現時点での世界が直面している問題の輪郭を明確にする。

第1回  
5/20  
水

### 民族をめぐる2つの方法論

民族(ネーション)に関する原初主義、道具主義という2つの方法論について紹介し、日常生活やマスメディアが伝える原初主義的な民族理解の問題点を明確にする。

第2回  
6/9  
火

### スターリン民族理論の再検討

スターリンは、革命家、政治家であったのみならず、思想家でもあった。スターリンの民族理論を再検討することで、その負の遺産が現在にも及んでいることについて考える。

第3回  
7/13  
月

### 「想像の共同体」説の限界

現下日本のアカデミズムにおけるナショナリズム論は、ベネディクト・アンダーソンの「想像上の政治的共同体」とのネーション規定がもたらす諸問題について考える。

第4回  
8/25  
火

### 心と民族の関係について

ケドゥーリは、ナショナリズムの思想的源泉の1つに19世紀のプロテスタント神学者シュライエルマッハーをあげる。ナショナリズムとロマン主義の関係について考察する。

第5回  
9/8  
火

### 「琉球独立論」について

真理は具体的である。現下の沖縄をめぐる問題は、第三者的に見た場合、民族問題である。「琉球独立論」をナショナリズムの観点から考察し、日本の国家統合について考える。

## 「売れない時代の ブランドマーケティング」

講師 **岩佐 英史** 元キリンビール株式会社 副社長

全5回 定員: **70**名 (開講最低人数20人) 受講料5回一括: **12,000円**  
時間: **19:00~20:30** 受講料各回: **3,000円**



**岩佐 英史** いわさ ひでふみ  
同志社大学法学部卒(1975年)キリンビール(株)でエリア営業・大手料飲チェーン・ホテルチェーン等の営業を経てマーケティング部長。「のどごし」を発売。中部圏統括本部長、SCM本部長、営業本部長、副社長を歴任し12年退任。明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科講師



**松本 巖** まつもと たけし  
同志社大学文学部卒(1991年)㈱電通関西支社CR局にてコピーライター兼CMプランナーとして勤務。02年、任天堂ゲームキューブ「ピクミン」をCMプランナーとして担当。東京本社へ転属。キリンビール「淡麗グリーンラベル」は05年~トータルクリエイティブ・ディレクション及びブランドコンサルティングを担当。13年独立。主なクライアント>キリンビール、トヨタ自動車、パナソニック、KDDI、プリジストン、ハウス食品、大塚製薬、任天堂、等。

### 狙い

2014年度秋学期は、ブランド・広告・新商品開発を切り口にマーケティングの概論をお伝えしました。今回は、もう少しテーマを絞り込み、少子高齢化・グローバル化・デフレ等、厳しい環境の中でブランドはどうあるべきかを考えます。プライベートブランド・商品ブランド・企業ブランド等、そしてヒット商品を産み出す組織・人材開発に迫ってみます。また毎回、質問時間を確保し皆さんと議論を深めたいと思います。最終回はクリエイターの松本さんにも加わってもらいます。

## 「統計のウソを見抜く！ ~ビッグデータ時代の統計リテラシー~」

特別講座 講師 **宿久 洋** 同志社大学 文化情報学部 教授

9/24 定員: **70**名 (開講最低人数20人) 受講料: **3,000円**  
時間: **18:30~20:00**

### 狙い

昨今のビッグデータのブームもあり各種データのビジネス活用の機運が一気に高まっています。しかしながら、ビジネス判断の現場においてデータ分析の結果は正しく理解されているのでしょうか? 実際、データの活用が増えるに従ってデータの誤用も散見されるようになってきています。本講座では最も根本的なデータの理解に焦点を当てて、データに基づく意思決定について考えたいと思います。



**宿久 洋** やどひさひろし  
1990年九州大学理学部卒業。1992年九州大学大学院総合理工学研究科修士課程修了。専攻統計科学,博士(工学)。1992年鹿児島大学理学部助手。2002年鹿児島大学理学部助教授。2005年同志社大学文化情報学部助教授を経て2008年より現職。主著「関連性データの解析法」共立出版「確率と統計の基礎I-II」ミネルヴァ書房

第1回 5/28 木 **組織と人**  
ヒット商品を産み出す要素はいろいろあります。例えば企業の危機感などは真っ先に挙げられるでしょう。それと同じくらい大事なのが組織風土です。ブランドマーケティングに相応しい組織はどうあるべきか、を考えてみます。

第2回 6/25 木 **PBとNB**  
PBブランドは最近増えてきていますが、欧米と比較するとまだまだ少ないのが現状です。PBとNBとの相違及びその関係をどのように考え、巨大小売業とどう連携していくかに迫ってみます。

第3回 7/23 木 **企業ブランドと商品ブランド**  
消費者ニーズが多様化している現在、どの企業も多数のブランドを抱えています。企業ブランドと商品ブランドをどのように整理すべきか、自動車業界にも言及してそのあり方を探ります。

第4回 8/27 木 **グローバルブランドとローカルブランド**  
世界のグローバル企業は、競争市場においてどのように棲み分けているのか。ハイネケンを例に考えてみたいと思います。

第5回 9/25 金 **ケーススタディ** ゲスト **松本 巖氏**  
最近のヒット商品、あるいは失敗の商品を取り上げ、「成功の本質」「失敗の本質」を抽出したい。これには松本氏にも加わって頂き、クリエイターの視点も踏まえて多面的に考察を加えます。

## 「TOEIC® 600からの 3ヶ月100点アップ講座」

特別講座 講師 **早川 幸治** 定員: **70**名  
時間: **18:30~20:30** 受講料: **3,000円**  
\*スコアアップ対策講座の実施決定が開講の条件となります。あらかじめご了承ください。



**早川 幸治** はやかわ こうじ  
IT企業(SE)から英語教師に転身し、現在はTOEIC®対策専門講師として有名企業、大学などで教える。TOEIC®テスト990点(満点)取得。TOEIC®テストを毎回受験し、傾向をおさえた効率的な勉強法が好評。TOEIC®テスト教材執筆にも携わっている。

スコアアップ対策講座 講師 **高田 紀子** 定員: **20**名 (開講最低人数17人)  
時間: **19:00~20:30**  
受講料15回一括のみ: **33,000円** + 教材費 **6,480円**  
(特別講座受講費含む)



**高田 紀子** たかだ のりこ  
大学を卒業したアメリカをはじめ、イギリス(ロンドン)、フランス(パリ)における海外滞在を経て、貿易会社やコンサルティング会社などで実務として英語を活用する傍ら、社内外でも英会話セミナーなどを担当する。現在では、大手企業や大学にて英会話、TOEIC®対策、プレゼンテーション講座など幅広く活動している。

### 狙い

TOEIC®で出題されるポイントにフォーカスして学習することで短期間で効率的にスコアアップを目指す講座です。TOEIC®対策専門講師として全国有名企業の研修や大学の講座を担当している早川幸治氏の講演と、15回のフォローアップ集中講座。

## 特別講演 5/11(月) TOEIC®テスト完全攻略法

TOEIC®の学習スケジュール方法から、試験の構成、パート毎の対策法までを自身の英語嫌い克服の経験をもとに、効果的な勉強法を伝授。

第1回 5/26(火) Part1 リスニング攻略  
単語学習法を習得 写真描写問題練習 1問5秒以内での確実な解答を目指す  
動作、状態、位置関係を表す頻出表現をマスターする

第2回 6/2(火) Part2 リスニング攻略  
ディレクションの有効活用 冒頭をしっかりと聞きとる練習  
短時間で判断するスキルの習得

第3回 6/9(火) 英語基礎学習  
音読トレーニング  
発音でできれば聞き取りもできる

第4回 6/16(火) Part5 短文穴埋め攻略  
短文穴埋め練習 1問20~25秒での解答を目指す  
選択肢を見て、問題タイプを素早く判断するスキルの習得

第5回 6/23(火) part6 長文穴埋め攻略  
長文穴埋め練習 1問20~30秒での解答を目指す  
文章の長さに関わらずこなすコツを習得

第6回 6/30(火) Part3 リスニング攻略  
問題タイプの練習 1問8秒以内の解答を目指す  
二人の人物によるトーク問題に慣れる

第7回 7/7(火) Part4 リスニング攻略  
会話タイプを特定し、話の展開の予想を立てる方法の習得  
1問8秒以内の解答を目指す

第8回 7/14(火) 復習・確認  
マインドセット カウンセリング  
時間を計りながら練習問題を解く

第9回 7/21(火) Part7 リーディング攻略  
時間をかければ解ける問題が多いことを知る  
易しいものを優先・文書に慣れる練習

第10回 7/28(火) Part7 リーディング攻略  
パターンを理解しスピードを上げる 頻出問題 手紙・メール・メモ・広告・アンケート・記事  
冒頭を読み取り、キーワードをヒントに情報特定をする

第11回 8/4(火) Part7 リーディング攻略  
1問1分での解答を目指す頻出問題 手紙・メール・メモ・広告・アンケート・記事  
冒頭を読み取り、キーワードをヒントに情報特定をする

第12回 8/18(火) 英語基礎学習  
頻出単語の練習 コロケーション テクニックだけに頼らない英語力の強化  
文法の総おさらい

第13回 8/25(火) Part1, Part5の復習  
確実に解ける問題を見え、確実に得点を取る練習

第14回 9/1(火) Part3, Part4の復習  
会話やアナウンスのストーリーを理解し、尋ねられている質問に確実に解答する練習

第15回 9/8(火) 総復習  
練習問題を何度も解いて設問のパターンに慣れる

## 産官学連携「新ビジネス」フォーラムが発足します!



東京産官学連携オフィスは、同志社大学の首都圏における産官学連携拠点です。首都圏での新たなネットワークを構築し、首都圏企業の新技術・新ビジネス創成のお役に立つことを目指します。

東京オフィスで定期的にイベントを実施  
毎回テーマを設け企業と本学研究者の出会いをセットします。「新ビジネス」フォーラムと題し、会議や議論が中心のフォーラムと、講演を中心とするシンポジウムを計画しています。

### キックオフシンポジウム

3月10日 18時30分~

主なプログラム 第一部 基調講演:森下俊三(ビジネス研究科特別客員教授、元 NTT西日本社長) 講演:三木光範(理工学部教授)「知的照明によるオフィス改革(仮)」、飛龍志津子(生命医学部准教授)「生物に学ぶセンシング技術ーコウモリの超音波利用の実態ー」 第二部 交流会

## 中央区民カレッジ連携講座

中央区民カレッジに元神学部教授の本井康博先生の講座が登場します。同志社大学との連携講座で東京オフィスセミナー室が会場です。同志社講座 in Tokyoの受講生は中央区民、中央区に在勤者でなくても受講することができます。区民カレッジ生の優先枠募集で定員に満たなかった場合、4月10日から一般募集が開始。お申し込みには、中央区HPで電子申請用のID登録を行い、電子申請してください。お申し込み時に「同志社東京講座受講生」を明記してください。

中央区HP <http://www.city.chuo.lg.jp/index.html> HP「文化・観光・スポーツ」→生涯学習→中央区区民カレッジ

### 区民カレッジ連携講座「日本の近代化と新島襄」

講師: **本井 康博氏**(元同志社大学神学部教授)  
日時: 5/25(月) 6/8(月) 6/22(月) 14時~15時30分  
受講料: 3回1,500円

\*区民カレッジ生の優先枠募集で定員に達した場合は募集されません。

### INFORMATION

#### ■講座お申し込みの前に■

- ①講座には募集定員と、開講最低人数があります。募集定員以上のお申し込みがあった場合は、抽選により決定する場合があります。開講最低人数に達しない場合は、開講を取りやめる場合があります。
- ②全回出席の方にお渡しする「修了証」を今学期分から3枚集められた方には、次学期以降の講座1回分を無料にいたします。
- ③講義中の撮影、録音は禁止です。